

2017年3月30日 POD版刊行のご案内

観光戦略としての宗教

長崎の教会群と場所の商品化

現在、世界は聖地に満ちあふれている。場所の魅力を発見し聖地を創造するという試みは、全国各地の自治体における、観光まちづくりや地域振興の実践にあたっての重要な地域課題である。

本書は、聖地創造の仕掛けやホスト側の対応を通して、宗教空間がいかに観光資源と化されるのか、さらに場所の商品化の課題は何かについて、長崎県におけるキリシタンを事例に考察したものである。

【目次】

まえがき

第Ⅰ章 宗教とツーリズム

第Ⅱ章 長崎におけるキリスト教

第Ⅲ章 ホストの側の観光動態

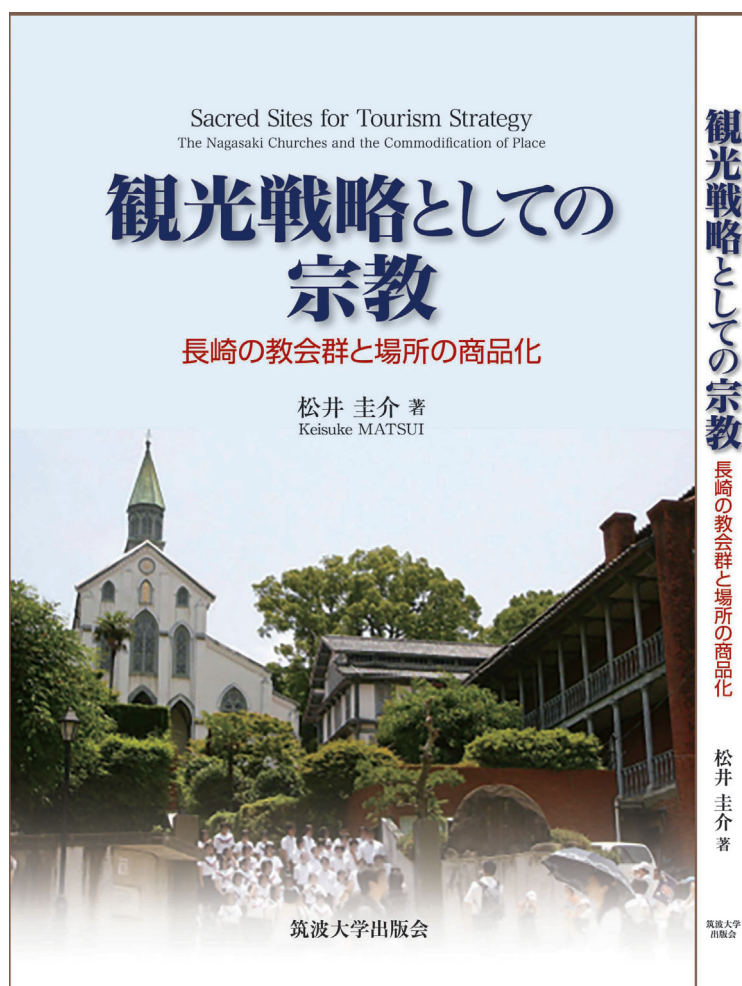
第Ⅳ章 世界遺産登録への動き

第Ⅴ章 教会を訪れる人びと

第Ⅵ章 創造される聖地巡礼

第Ⅶ章 場所の商品化とその課題

オンデマンド版あとがき



観光戦略としての宗教

長崎の教会群と場所の商品化

松井 圭介 著

筑波大学出版会

A5判 206頁

POD版 ISBN978-4-904074-44-2 発売：Amazon

定価 3,080円

筑波大学生命環境系教授 松井 圭介 著

【著者紹介】

専攻：人文地理学 文化地理学 宗教観光論

最近の著作：

『日本の宗教空間』（古今書院、2003年）

『日本農業の維持システム』（田林 明・菊地俊夫・松井圭介編著、農林統計出版、2009年）

『商品化する日本の農村空間』（分担執筆、田林 明編著、農林統計出版、2013年）

『聖地巡礼ツーリズム』（分担執筆、星野英紀・山中 弘・岡本亮輔編、弘文堂、2012年）

『宗教とツーリズム』（分担執筆、山中 弘編、世界思想社、2012年）

『Geography of Religion in Japan』（Springer Japan、2014年）など

2013年3月15日初版発行 A5判 204頁 ISBN978-4-904074-26-8 発売：丸善出版 株式会社